

インターフェース学習会

実験教育支援センター（電気系共通実験室担当）
理工学部基礎教室
実験教育支援センター（電気系共通実験室担当）

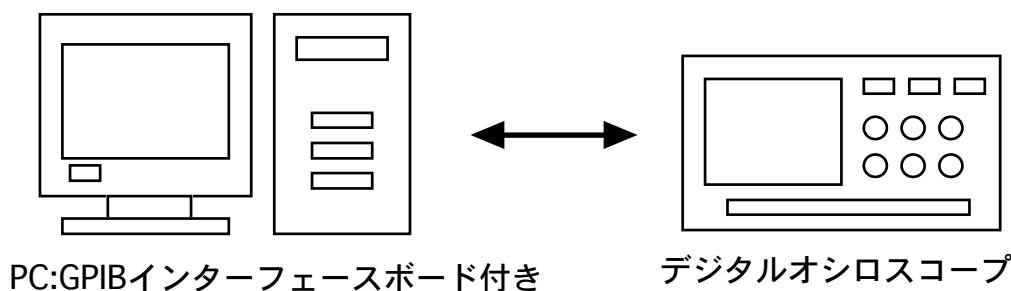
中嶋 一嘉
後藤 修二
小向 康夫

はじめに

実験装置のコントロールや、データの取得にPCを使用する際には、PCと実験機器を繋ぐ「インターフェース」の部分の技術が重要な要素となってくる。本学習会では、PCと機器を繋ぐインターフェースボードを使用して、その基礎を学ぶことを目的として進めている。本報告では先の発表会で展示したデモについて簡単にふれる。

デモンストレーションの内容：

PCにGPIBボードを挿入してデジタルオシロスコープと通信する。



確認内容

- 1) PCからData Send要求を行う<talkerになる>
- 2) 例えばオシロスコープのIDを尋ねる場合、「ID?」を送信する
- 3) Data Receiveを要求する<listenerになる>
- 4) データを受け取る。

デジタルオシロスコープからIDが表示される。

（インターフェースボードの具体的な使用例については実験教育支援センター中嶋氏の報告を参照してください）

使用機材

テキスト：Windows2000による計測・制御プログラミングのノウハウ
インターフェースボード：PCI-4301(GPIBボード)
：PCI-2726(AD/DAボード)

今後の予定

計測・制御について、プログラミングを含めた学習を継続する。

謝辞

本勉強会は、慶應義塾大学理工学部技術研修委員会の補助にて行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。